

現場支援向け 「LiveOn」ご提案資料

JMS ジャパンメディアシステム株式会社



✓ 幅広いご利用用途

企業様では勿論の事、官公庁・地方自治体においても業務のオンライン化が加速しており、さまざまな分野でWeb会議システムのニーズが高まっています。

「LiveOn」なら、会議用途のみならず多岐に渡る用途を包括的にカバーする拡張性があります。

遠隔現場支援



BCP対策



研修・勉強会



各種会議



ペーパーレス会議



スマホ・タブレット活用



相談業務



ドローン連携



LiveOn現場支援システムは、様々な業種に利用は広がっています。

整備

整備士不足が深刻な中、若手の作業支援に活用。

製造

顧客に納品した**大型機器の遠隔点検**に活用。
大型機器と一緒にスマートグラスを納品されるケースもある。

看護・介護

感染症対策のため実技研修ができないため、熟練看護師、介護者の視点を**研修配信**。

巡回点検

現場作業員の視点を本部側で確認しつつ、本部側で画像を保存。本部側で**報告書作成を支援**できるようになった。

製造

生産ラインの監視に活用。事務所から複数のラインを監視でき確認効率がアップ。

医療

密をさけるため複数人での回診ができない。→
教授がスマートグラスを装着し回診の様子をリアルタイム配信。

点検

従来複数人で行っていた点検作業現場にスマートグラスを導入することで、**現場の人数削減**に成功。

建設

遠隔での臨場にスマートグラスを活用。

警備

イベント時の複数現場の確認や、一人警備の現場で活用。

リフォーム

進捗状況報告に活用。

美容

メーカーからサロンに**技術研修利用**。ヘアエクステ、エステ、まつげエクステサロンなどご利用。

LiveOnの特徴

1. 少ないデータ量での接続

海外等の電波回線が粗悪な環境でも安定してご利用できる

2. スマートグラス側は操作の必要なし

スマートグラスは電源を入れるのみで接続ができるので
作業者は操作を覚える必要がない

3. 手厚いサポート体制

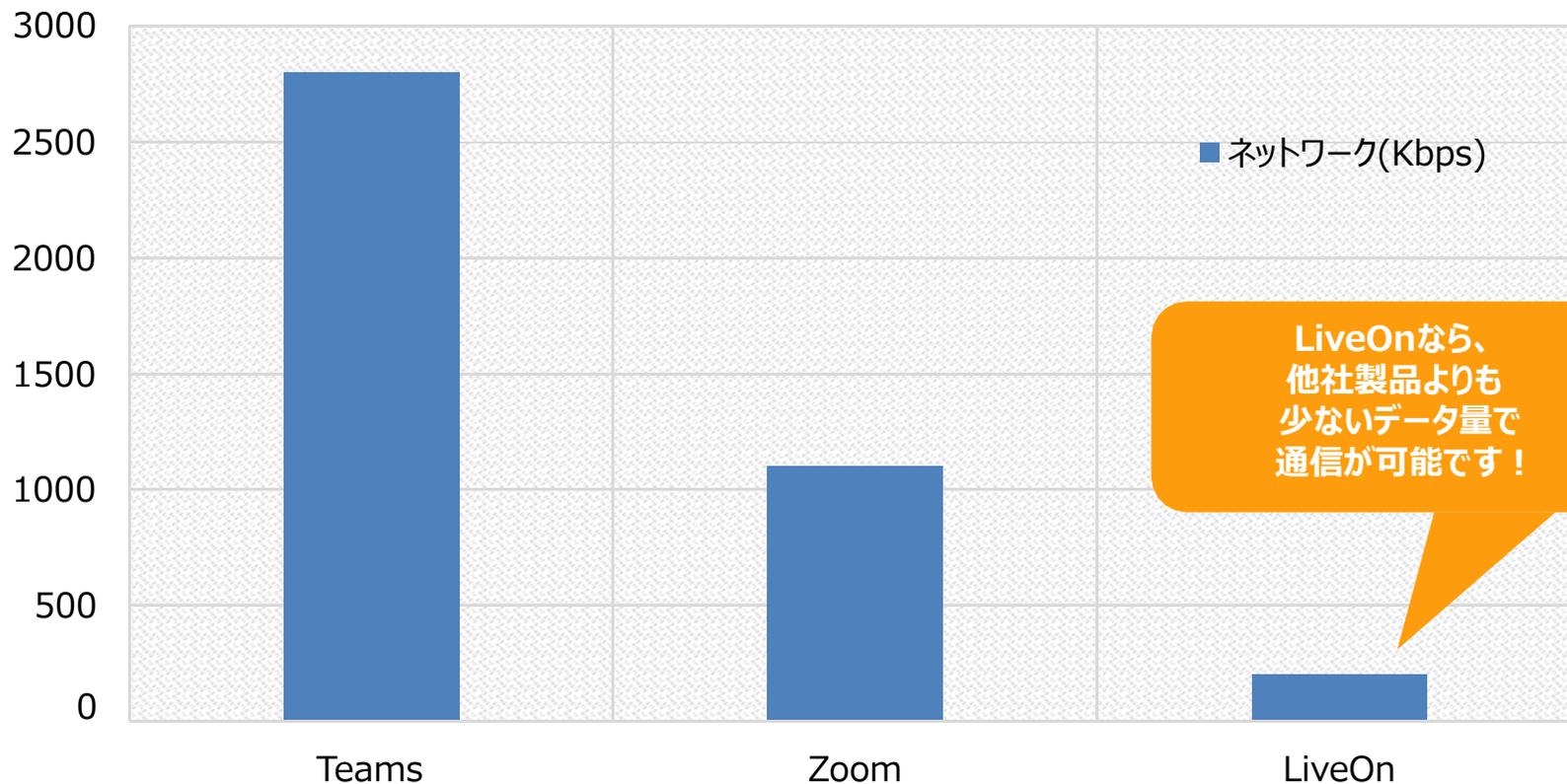
自社開発製品のため、わからないことがあってもすぐに解決できる

圧倒的に少ないデータ通信量

LiveOnは他社製品と比べて、非常に少ない通信量で利用することができます。

そのため、電波環境の悪い現場からの通信でも、ネットワークや利用端末(PC・スマホ・タブレット)への負荷が少ないことが非常に大きな強みになっています！

■データ通信量比較





+

Live On[®]

**遠隔現場支援システム
「LiveOnウェアラブル」**

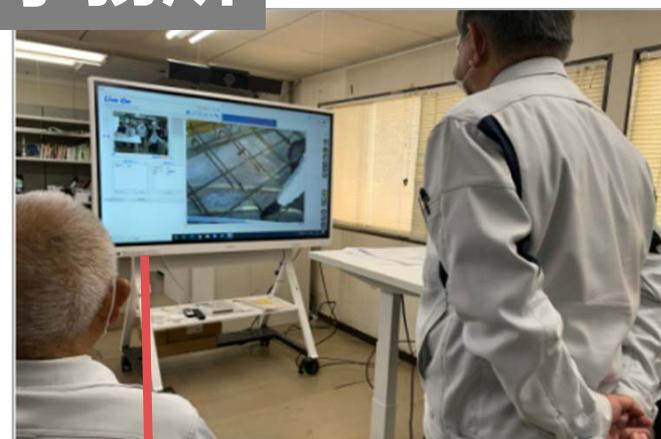
- **本部** : 離れた現場の映像をリアルタイムに確認し、音声や資料で指示が可能に
- **現場** : スマートグラス越しに指示を受けながら、ハンズフリーで作業が可能に

離れた場所から現場の様子を確認・作業指示・相談

現場



事務所



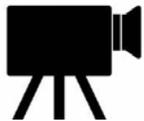
マニュアル表示 (※一部オプション)

スマートグラスのディスプレイにマニュアル等の資料を表示することができます。対応ファイルはPDF、Word、Excel、PowerPointです。

オプションの「多人数モード」で本部側が資料を表示するとスマートグラスにも表示、非表示にするとスマートグラスにも非表示にするように連動が可能です。

録音録画

現場映像を指示者側のPCに録画することができます。連続録画可能時間は5時間、一旦停止して再度録画ボタンを押せば、何度でも録画できます。



静止画キャプチャ& 描画での指示出し (※オプション)

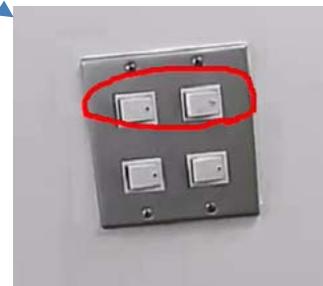
現場映像を静止画としてキャプチャし、現場側端末に表示することができます。

さらにマウスポインターの表示や描画機能で、具体的な指示を出すことも可能です。



現場映像下の **CAP** をクリックし、「資料共有」を選択するとスマートグラスのディスプレイが静止画に切り替わります。

描画機能で書き込みをしたり、マウスポインターの表示が可能です。



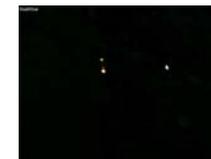
スマートグラスの設定を PCから遠隔で設定変更

遠隔で現場端末のライトON/OFF
(※) やズーム倍率の変更、音量の調整などの設定変更が可能です。

※ライト非搭載の端末もあり



ライトなし



ライトあり



費用 (ASP版)

LiveOnウェアラブルパッケージ

初期費用 ￥300,000
月額使用料 ￥6,000

◎現場スマートグラス側、
指示者PC側の計2ライセンス

◎現場支援に特化した各種機能

※同時接続3以上は、同時接続ライセンス
1あたり初期費用 ￥78,000、
使用料 ￥3,000が必要です。

スマートグラス



+

キッティング費用

台数により異なります

指示者側機器

カメラやマイクスピーカーを
お持ちでない場合のみ必要です

イメージ画像	製品名	市場価格	製品特徴
	Navigator 500 (RealWear)	市場価格 通常:¥360,000 (税別) 防爆:¥780,000 (税別) ※1年保証料込み	タイプ: スマートグラス (Android搭載) 重量: 272g 持続時間: 約3~4時間程 (別途バッテリー交換可能) 特徴: 屋内外対応の防塵防水対応スマートグラス 安心のコードレス、ライト搭載 ヘルメットやその他バンド装着可能、
	M400 Smart Glasses (VUZIX)	市場価格:¥199,000 (税別)	タイプ: スマートグラス (Android搭載) 重量: 160g(ケーブル、バッテリー、メガネフレーム含む) 持続時間: 約1~1.5時間程 (別途バッテリー交換可能) 特徴: 室内向けの軽量スマートグラス ライト搭載、ヘルメット装着可能 別途バッテリー交換可能
	WAT-06U2D (ワテック)	市場価格:¥80,000 (税別)	タイプ: 外部カメラ 重量: 85g (コード含む) 持続時間: スマホの電池容量に準ずる ※Androidスマホ必須 特徴: オプションでヘルメットに装着可能 安価な外部カメラで現場を映すことのみを想定
	CX-WE100 (Xacti)	市場価格:¥151,800 (税別)	タイプ: 外部カメラ 重量: 140g (コード含む) 持続時間: スマホの電池容量に準ずる ※Androidスマホ必須 特徴: オプションでヘルメットに装着可能 エクスタビライザ搭載により映像のブレ補正対応

株式会社オプテージ 様

業種：情報・通信

企業規模：1000～3000名

スマートグラスとLiveOnで現場映像を事務所でリアルタイムに共有

現場への移動時間・回数を削減し、作業品質を落とすことなく、現場作業の効率化を実現

導入前の課題

- 現場出勤員の確保
- 現場への移動時間の負担が大きい
- 作業品質を落とすことなく、作業を効率化する必要性

LiveOnで解決・導入効果

- ✓ 遠隔での作業支援や工事立会・検査により、現場への移動時間・回数を削減
- ✓ 映像と音声で、現場との距離感を感じることなく的確な指示が事務所から可能に

<実際のご利用シーン>



ご活用用途

- ・保全拠点にLiveOnウェアラブルを配備し、毎月数十件の現場支援
- ・工事施工状況の立ち合い・検査・確認・指示出しを遠隔で実施
- ・設備の状況をリアルタイムで共有、障害発生時も遠隔からの技術支援

LiveOn選定の決め手

- ・設備の細かな部分まで確認する必要があるため、高精細な映像を送信でき、「遠隔でも正確な判断や支援が行える高い品質」であること
- ・自社だけでなく施工会社にも利用してもらうため、「操作が簡単」なこと
- ・安全性に配慮し、「ハンズフリーで利用できる」こと

中日本ハイウェイ・エンジニアリング株式会社 様

業種：建設

企業規模：500～1000名

スマートグラス×LiveOnで、難易度が高いロープアクセスの点検現場を遠隔支援
情報共有のスピードアップと、現場⇔オフィス間のスムーズな連携を実現！

導入前の課題

- 伝達手段が無線や電話での口頭に限られていた
- 伝達の度に作業が止まるため、作業時間が延びる
- 過酷な現場が多く、人員配置や技術継承が難しい

LiveOnで解決・導入効果

- ✓ スマートグラスを活用し、音声と映像でのやり取りが可能に
- ✓ 手を使わずに通信ができ、落下リスクや作業時間の低減を実現
- ✓ 熟練者による支援や特異な環境でのOJTを実施

<実際のご利用シーン>



ご活用用途

- ・ロープアクセスでの点検現場をオフィスから遠隔支援
- ・近接現場同士もLiveOnで接続し、進捗確認や経験の浅い作業者に対するOJTにも活用
- ・熟練者しか到達できない現場の様子も、LiveOnを通してライブ研修

LiveOn選定の決め手

- ・触診やロープ移動で手がふさがるため、「手を使わない映像共有・交信手段」であり、「現場では電源ON以外の操作が不要」であること
- ・「河川や山間部などの環境下でも安定」して音声・映像のやり取りができる品質の高さ

入交電設株式会社 様

業種：建設

企業規模：～100名以下

ベテラン社員が若手作業員を遠隔から支援。**技術継承や作業効率化に効果**を発揮

LiveOnウェアラブルは、**高齢化・人手不足が課題の中小企業にこそ必要不可欠**なツールに

導入前の課題

- 監督管理者(有資格者)の高齢化
- 若手社員の育成や技術継承がうまく進まない
- 現場までの移動時間が非効率

LiveOnで解決・導入効果

- ✓ ベテラン社員の技術や知識を円滑に伝達
- ✓ リアルタイムに指示を仰げ、**現場経験の蓄積や技術向上**に効果
- ✓ **移動時間の削減**により**現場管理や現場作業の効率化**を実現

<実際のご利用シーン>



ご活用用途

- ・スマートグラスを装着した若手作業員をベテラン社員が遠隔から支援
- ・遠隔で状況確認、段階確認、指示、安全パトロールなどを実施
- ・大型モニターに現場の映像を投影し、複数名で状況を確認

LiveOn選定の決め手

- ・現場で複雑な操作が必要なく、電源ONだけで利用できる「簡単さ」
- ・作業をしながら利用するため、「操作性に優れている」こと
- ・「多拠点接続が可能」で、一人の指示者で複数の現場管理が可能

大手自動車部品メーカー 様

業種：製造・メーカー

企業規模：3000名以上

機密情報を含む製造ラインが映るため、セキュリティを重視した**オンプレミスで導入**

遠隔作業支援ツールとしての活用で、**トラブル発生時の迅速な対応**や**保全部署のリソース不足解消を実現**

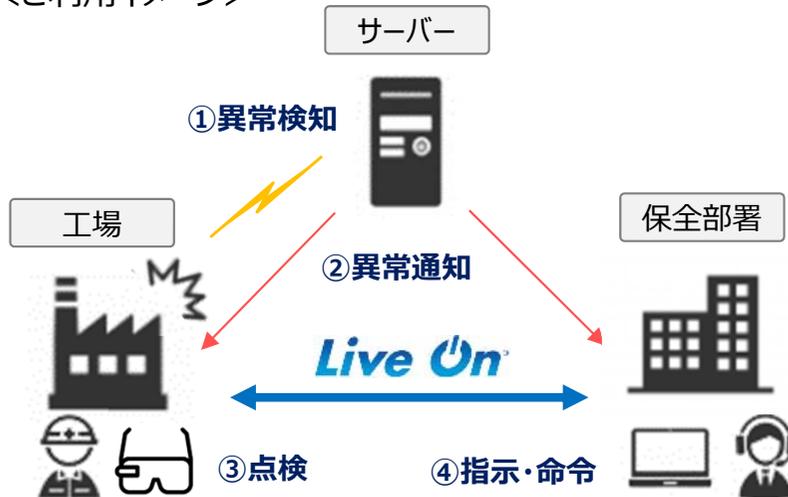
導入前の課題

- 工場内が広く、現場に駆け付けるまで時間が掛かる
- 同時トラブルが発生した際、保全担当のリソースが足りなくなることも
- 復旧履歴は報告書(テキスト)ベースのものしかない

LiveOnで解決・導入効果

- ✓ 現場担当者は**異常箇所の映像をリアルタイムで保全部署と共有**、遠隔からの指示・命令で**迅速にトラブルを解決**
- ✓ サーバーが異常を検知し、スマートグラスを起動させると、LiveOnも起動し自動録画を開始。**動画での対応履歴保存が可能**に。

<ご利用イメージ>



ご活用用途

- ・トラブル発生時に保全部署と接続、状況確認・指示命令を実施
- ・1ラインに4~5人の作業員⇔管理者が常時接続
LiveOnで会話をしながら、製品の品番チェックなどの作業を実施
映像が必要になった際にはスマートグラスを装着し、映像で確認

LiveOn選定の決め手

- ・機密情報を含む製造ラインが映るため、「オンプレミスで導入できる」こと
- ・スマートグラス⇔管理者PC間で「途切れなくやり取りができる」こと
- ・スマートグラスを装着した作業員が「複数人同時に会話ができる」こと

大手医療機器メーカー様

業種：製造・メーカー

企業規模：1000～3000名

新型コロナの影響で病院内へ立入禁止となり、**医療機器の使用方法等のサポートをスマートグラスで実施**
不測の事態が発生した場合でも、LiveOnウェアラブルで業務の遂行が可能に

導入前の課題

- 新型コロナの影響で病院内に立ち入ることができない
- 機器の組み立てや操作説明などが行えない状況に
- 病院関係者が作業を代行できる仕組みが必要

LiveOnで解決・導入効果

- ✓ 病院に立ち入ることなく、遠隔から使用方法などの支援が可能に
- ✓ 医療機関にスマートグラスとモバイルルータを送付することで、病院関係者が作業を一時的に代行できる仕組みを構築

※画像はイメージです



ご活用用途

- ・送付したスマートグラスを病院関係者が装着し、メーカーと接続
- ・納品した医療機器の組み立てのサポートや、使用方法等を遠隔支援

LiveOn選定の決め手

- ・「音声や映像品質」が他社製品より優れていたこと
- ・スマートグラスを使用するのが病院関係者や医療従事者のため、「難しい操作を必要とせずに簡単に利用できる」こと

食品メーカー 様

業種：製造・メーカー

企業規模：500～1000名

製造ラインの停止 = 損失に直結するため、**トラブル時の迅速な状況確認と早期復旧ができる体制を実現**

アイスクリームを製造する**超低温環境でも利用できるスマートグラス(Realwear HMT-1)**を採用

導入前の課題

- 製造ラインの停止対応などが迅速に行えない
- 季節商品が多く、繁忙期はフル稼働であるため、製造ラインが停止すると損失に直結してしまう

LiveOnで解決・導入効果

- ✓ 夜間でも迅速に現場の状況を確認でき、早急な対応が可能に
- ✓ 設備停止時間を最小限にとどめることができ、損失を回避

※画像はイメージです



ご活用用途

- ・スマートグラスとスマートフォンの両方を使用して遠隔作業支援を実施
- ・設備トラブルや夜間の緊急対応時に、スマートグラスやスマートフォンで現場の様子を共有、現場の状況を正確に伝え、迅速な復旧を実現

LiveOn選定の決め手

- ・スマートグラスでもスマートフォンでも利用でき、「対応デバイスが幅広い」
- ・起動や操作が簡単で、「利用者の負担が少ない」こと
- ・「メーカーのサポート」が手厚く、導入後の運用も安心できること

大手ガス会社 様

業種：電気・ガス

企業規模：3000名以上

スマートフォンや180度カメラを活用し、広角に現場全体を見渡しながらの作業支援を実現

映像・音声・図面の共有がLiveOnひとつで行える便利さや、遠隔設定変更機能による「運用のしやすさ」もポイントに

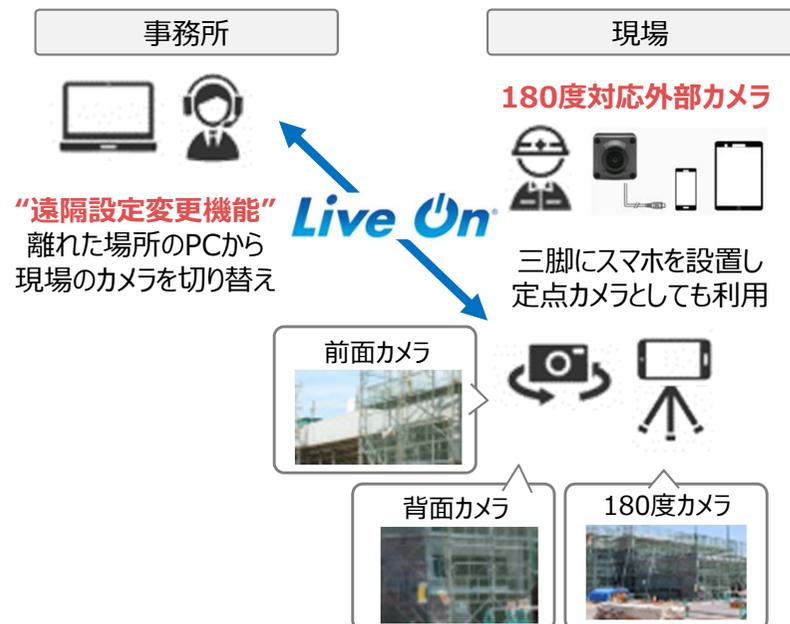
導入前の課題

- 広角に現場全体を見渡しながら支援する必要がある
- 既存製品は音声のやり取りや図面の共有ができず別途電話を使う必要があるため、使い勝手が悪い

LiveOnで解決・導入効果

- ✓ 現場用のスマートフォンと180度カメラを組み合わせることが可能
- ✓ 映像・音声・図面の共有がLiveOnひとつで完結し、対応端末も幅広いため、使い勝手が大きく向上

<ご利用イメージ>



ご利用用途

- ・ガス工事現場と事務所を接続し、遠隔で作業内容を確認・遠隔支援
- ・スマートフォンを三脚に設置し、現場を映す定点カメラとしても使用、必要に応じて音声・映像・図面の共有を行う
- ・管理者PCから遠隔設定変更機能でカメラを切り替えることで広範囲に現場を確認しながら作業支援を実施

LiveOn選定の決め手

- ・通信データ量が少なく、「屋外でも音声・映像が安定」していること
- ・遠隔設定変更機能が搭載されており、「現場で運用しやすい」こと
- ・「オンプレミスで導入」でき、カスタマイズ性も優れていること

大手電力会社 様

業種：電気・ガス

企業規模：3000名以上

発電所からは外部のインターネットに接続ができないことや、セキュリティ・BCPの観点からも**オンプレミスで導入**
「タブレット端末 + 外部接続カメラ」で遠隔作業支援を実施

導入前の課題

- 発電所内から外部のインターネットに接続ができず、クラウド版ではWeb会議を行うことができない
- 現場の人手不足や業務効率化も課題に

LiveOnで解決・導入効果

- ✓ **オンプレミスで構築**でき、発電所内のWi-FiでWeb会議が可能
- ✓ 遠隔作業支援ツールとしても活用でき、**現場に人数を割くことなく効率的に作業ができる体制**を実現

※画像はイメージです



ご活用用途

- ・発電所内の本部事務所⇔現場への指示や映像の共有
- ・災害発生などの緊急時にはBCP対策ツールとしても活用予定

LiveOn選定の決め手

- ・「**オンプレミスで構築**」ができ、発電所内のサーバーに繋ぐだけでWeb会議や遠隔作業支援に利用できること
- ・他の会議ツールに比べて機能面が豊富で、会議はもちろんのこと、「**遠隔作業支援で活用できる機能(遠隔設定変更や書き込みなど)**も多数搭載されている」こと

建設・造園会社 様

業種：建設

企業規模：～100名以下

遠隔臨場のツールとして、LiveOnウェアラブルとスマートグラスを活用

導入の決め手は、**ITツールに不慣れな作業員でも簡単に使える「操作性」**や**「サポートの手厚さ」**

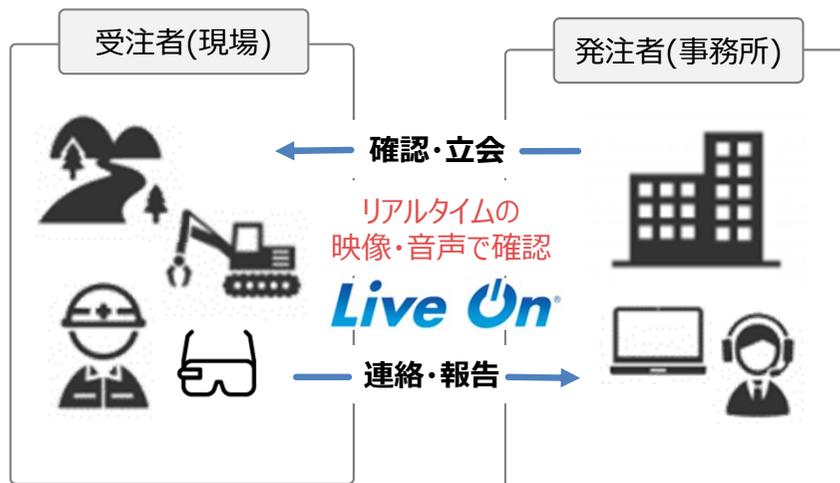
導入前の課題

- 現場への移動時間や費用が負担
- 限られた日程・時間で臨場を実施する必要がある
- 現場では担当者が到着するまでの待機時間が発生

LiveOnで解決・導入効果

- ✓ 直接現場に出向く必要がなくなり、**時間と費用を大幅に削減**
- ✓ 臨場の機会や確認時間を増やすことで、**安全性の向上**に寄与
- ✓ 待機時間がなくなり、**現場作業の効率化**を実現

<ご利用イメージ>



ご利用用途

- ・遠隔臨場のツールとして、材料確認・段階確認にスマートグラスを活用
- ・自社社員と市役所担当者とをLiveOnで接続し、遠隔臨場を実施

LiveOn選定の決め手

- ・ITツールに不慣れな作業員でも利用できる**「簡単さ」**
- ・品質が高く、**「電波環境が良くない現場でも安定して使える」**こと
- ・**「操作説明や運用相談などのサポートが充実」**していること

不動産仲介会社 様

業種：不動産

企業規模：100～500名

住宅購入予定者と建設現場をLiveOnウェアブルとスマートグラスで接続

「建設現場訪問→事務所に戻って打ち合わせ」という**移動時間のロス**を解消し、**商談時間の短縮化**を実現

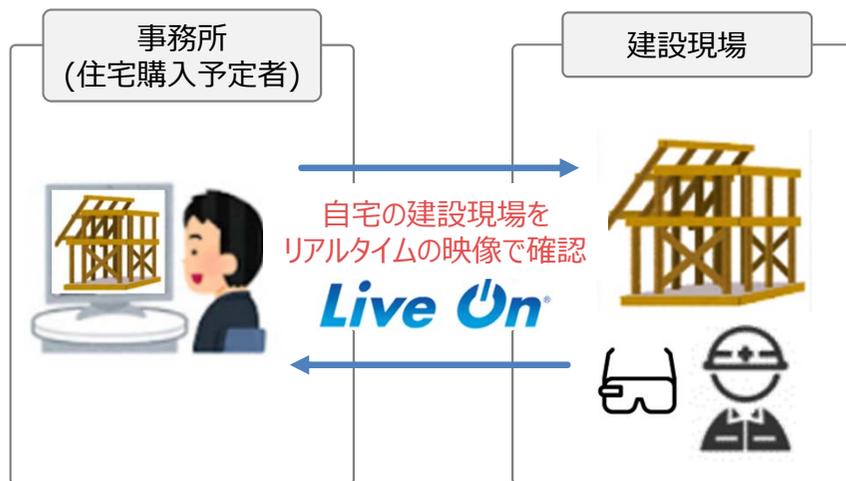
導入前の課題

- 建設現場と事務所の移動に時間が掛かり、商談が長引いてしまう(商談件数を増やすことができない)
- 現場作業員の高齢化が進み、業務効率化が課題

LiveOnで解決・導入効果

- ✓ 事務所から現場の状況を確認でき、**現場への移動時間を削減**
- ✓ 1件あたりの**商談時間の短縮化**により、1日の**商談件数が増加**
- ✓ 現場は作業に集中できる環境になり、**業務効率化**にも寄与

<ご利用イメージ>



ご活用用途

- ・建設現場の作業員はスマートグラスを装着、住宅購入予定者が事務所に来社した際、現場と接続し建設状況をその場から確認
- ・現場の技術者の高齢化が進んでおり、より効率的に業務を遂行できる体制の一環としても活用

LiveOn選定の決め手

- ・遠隔作業支援専用ツールに比べて「ランニング費用が安価」なこと
- ・遠隔作業支援だけでなく通常の会議や打ち合わせでも利用でき、「拡張性が高い」こと
- ・現場側は端末の電源を入れるだけで接続ができ、「簡単に使える」こと

大学病院 救命救急センター 様

業種：医療

企業規模：1000～3000名

ドクターカーで現場に駆け付ける医師と救命救急センターとを接続し、患者の状況を迅速かつ適切に把握一刻を争う医療現場で利用できる高い品質と、個人情報やプライバシー保護に対応できる機能制限が決め手に

導入前の課題

- 現場の人手不足や医師の働き方改革などが課題
- Zoomや現場中継専用ツールを使用していたが操作性や機動性が悪く、積極的に活用できない

LiveOnで解決・導入効果

- ✓ スマートグラスの活用が医療現場の業務改革などの足掛かりに
- ✓ 軽量なスマートグラスで利用ができ、システムの操作性も良いため 医療現場でのスムーズな活用が可能に

<ご利用イメージ>



ご利用用途

- ・ドクターカー(院外)⇔救命救急センター(院内)での遠隔支援
現場の医師と接続し、救急センターから現地の状況確認や指示
- ・近隣の病院の救命救急センターとの連携
近隣病院の医師とスマートグラスで症状を共有。病床の空きや処置レベルに合わせて救急患者の割り振りを相談し、連携を強化
- ・研修医⇔指導医を接続しての研修や実技指導

LiveOn選定の決め手

- ・Zoomに比べて通信が安定しており、「画質や機能も優れていた」こと
- ・患者の個人情報やプライバシーに配慮し、「セキュリティ面で安全である」こと、「録音録画機能無効などの設定が可能である」こと